

大旦川排水機場着工を祝う会 が開催されました。

12月10日(土)、大旦川改修事業促進期成同盟会主催、大旦川排水機場着工を祝う会が開催されました。

当日は地権者の方や関係機関から多数の方が出席して着工を祝いました。安全に、そして早期の完成を目指して関係者一同決意を固めました。

大旦川排水機場着工を祝う会の様子を紹介します。



3. 11震災パネル展示



事業概要の説明



安全祈願

大旦川排水機場は、昭和47年に最上川と支川大旦川の合流点に設置されました。設置以降約40年が経過し、設備や躯体の老朽化が著しく、また年間を通しての稼働時間が長いことから、ポンプの劣化損傷による運転停止が発生するなど維持管理上大きな課題を抱えている為、地域の重要な役割を担う排水機場としての機能保持と信頼性向上のため、大旦川排水機場を改築します。

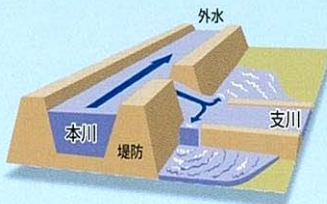


排水機場の役割

大雨により最上川(本川)の水位が高くなると、大旦川(支川)の水が最上川に自然に流れ込むことができなくなります。大旦川流域の人々の生命と暮らしを守るため、大旦川の水をポンプで強制的に最上川へ吐き出すのが排水機場の主な役割です。これにより、大旦川流域の洪水被害を軽減することができます。

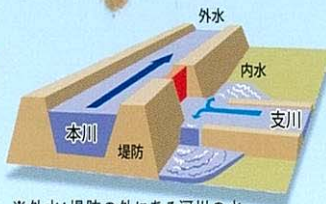
1 本川が堤防で締め切られていなかったら

本川が増水した場合には、その水が堤内側に逆流して浸水被害が起こります。



2 水門で閉め切ったら

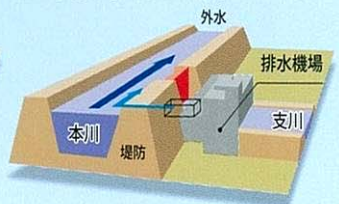
※外水が入らないように水門を閉めた場合には、※内水が溜まったり浸水被害が起こります。



※外水：堤防の外にある河川の水
※内水：河川に排水できずにはん蓄した水

3 排水機場があれば

そこで支川に溜まった水をポンプで揚げ、本川に吐き出します。この働きにより浸水被害が少なくなります。



新しい大旦川排水機場

新しい大旦川排水機場は、

- ①少水量でも効率的な台数制御が可能
 - ②水位変動に柔軟に対応した運転操作が可能
 - ③構造がシンプルであるため、維持管理が容易
- 「安全性の高い新しい排水機場」として生まれ変わります。



排水機場完成予想図



山形河川国道事務所 寒河江出張所

〒991-0043 寒河江市大字島字島東239
TEL 0237-86-3069
FAX 0237-86-6206

